

# 会社概要

概要 (2007年3月31日現在)

商号	沖電気工業株式会社
英文社名	Oki Electric Industry Co.,Ltd.
創業	1881年(明治14年)1月
設立	1949年(昭和24年)11月1日
資本金	76,940百万円
従業員数	21,380名(連結) 5,579名(単独)
取締役社長兼CEO	篠塚勝正
本社	〒105-8460 東京都港区虎ノ門1-7-12 TEL 03-3501-3111

## 事業セグメント

### 情報通信システム

NGNIに注力し、情報通信融合技術と  
メカトロニクスを強みに事業を展開します  
●金融 ●通信 ●情報システム



### 半導体

半導体単独事業から  
e機能モジュール事業への拡大をめざします

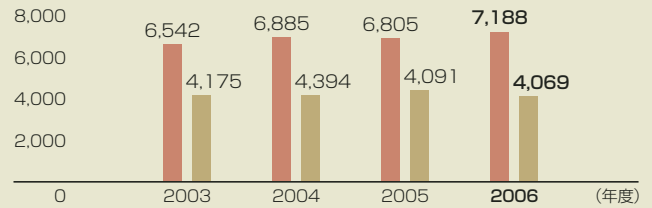


### プリンタ

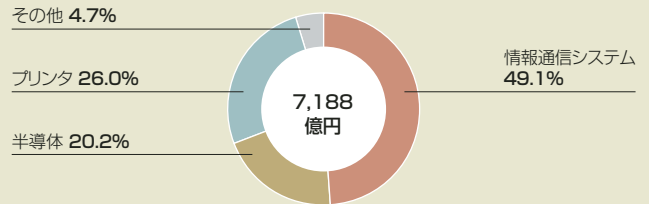
小型、高速、高解像度の強みを活かし、  
多機能・中上位カラー・ノンインパクトプリンタを  
展開します



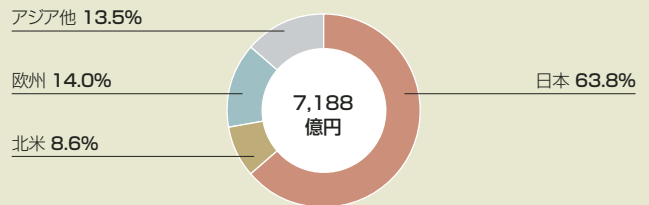
売上高 (億円) ■ 連結 ■ 単独



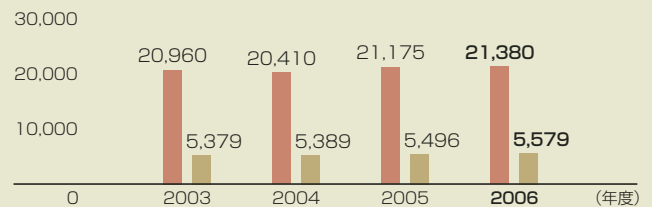
2006年度事業セグメント別売上構成(連結)



2006年度市場別売上構成(連結)



従業員数 (名) ■ 連結 ■ 単独



## ブランドスローガン

**OKI** *Open up your dreams*

OKIは、お客様をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様の  
夢や希望が現実のものとなる、e社会の実現を目指しています。

OKIのブランドスローガンは、  
世界の人々の心豊かで安心、安全な夢の社会への扉を開くことを表しています。  
また、e社会を目指す私たちOKIの夢の実現をも表現しています。

「あなたの夢を拓く」「想いを実現する」  
それがブランドスローガンに込めたOKIの約束です。

—— OKIは夢の扉を開きます ——

## 編集方針

- 本レポートは、OKIグループの企業の社会的責任(CSR)への取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすくお伝えするため、OKIグループが現在重点的に推進している6つの活動項目ごとの構成とし、各活動における2006年度注力ポイントと達成状況を明示しています。
- 各重点項目のページには、対応する「OKIグループ企業行動憲章」の項目を記載し、相互の関連性を示しました。また活動の様子を生き生きとお伝えするために、「社員の声」を掲載しています。
- 社会および企業の持続的発展のためには、「社会」「環境」「経済」の3つの側面からのバランスのとれた取り組みが重要です。本レポートでは「社会」に関連する事項を中心に記載し、「環境」についても主要な取り組みを掲載しています。環境に関するさらに詳細な報告は、「環境報告書」をご覧ください。また、「経済」に関連し、経営状況についてご紹介した「アニュアルレポート」を発行しています。



## 対象範囲

**期間：**2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)を対象としていますが、これ以前の事実やこれ以降の方針・計画などについても一部に記載しています。

**組織：**沖電気工業株式会社および国内・海外の子会社、関連会社。また、環境データについては、沖電気工業株式会社の国内17拠点、グループ企業の国内22社および海外6社を対象範囲としています。なお、本文中では沖電気工業株式会社を「OKI」、子会社・関連会社を含むOKIグループを「OKIグループ」と表記しています。

## 参照ガイドライン

- GRI(Global Reporting Initiative)「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」
- 環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」

### お問い合わせ先

沖電気工業株式会社 CSR推進本部 CSR推進部  
TEL 03-3580-7757 FAX 03-3508-1963  
e-mail:oki-csr@oki.com

## CONTENTS

会社概要	2
トップメッセージ	4

## 特集 OKIグループのCSRのかたち

1 「e社会」の実現に向けて ユビキタスサービスにあふれる「e社会」の 進展をリードするソリューションを創出	6
2 グローバル企業として 地域社会の一員として 中国で地域に根ざしたCSR活動を推進	8
3 企業集団献血のパイオニアとして 「OKIらしい社会貢献活動」の一つのルーツ 血液事業の支援活動を継続	10
4 イノベーションを通じて 世界初、異種材料間の薄膜接合技術を用いた デバイスの量産化に成功	11
コーポレート・ガバナンス	12
OKIグループのCSR推進の取り組み	13
■ コンプライアンスの推進	15
■ お客様満足の上昇	18
■ 株主・投資家への情報発信	22
■ 社員の尊重	24
■ 環境への対応	28
■ 社会貢献	32
さらなる信頼関係の構築に向けて	35

### 将来の予測・計画・目標について

本レポートには、OKIグループの過去および現在の事実だけでなく、将来の予測や計画・目標なども記載しています。これらは記載時点で入手できた情報に基づく仮定や判断であり、将来的に生じる事象や事業活動の結果などが本レポートの記載事項と異なる可能性があります。読者の皆様にはこの旨をご了解くださいますようお願い申し上げます。